

フォローアップ項目に対する報告

2021年12月17日

中国電力ネットワーク株式会社



中国電力ネットワーク

- 当社では「経営ビジョン2030」を実現するため、必要なDX技術を「DX推進計画」として策定し、業務効率化や品質向上等を目的としたDX技術の導入に積極的に取り組んでいます。

DX推進計画

経営ビジョン2030

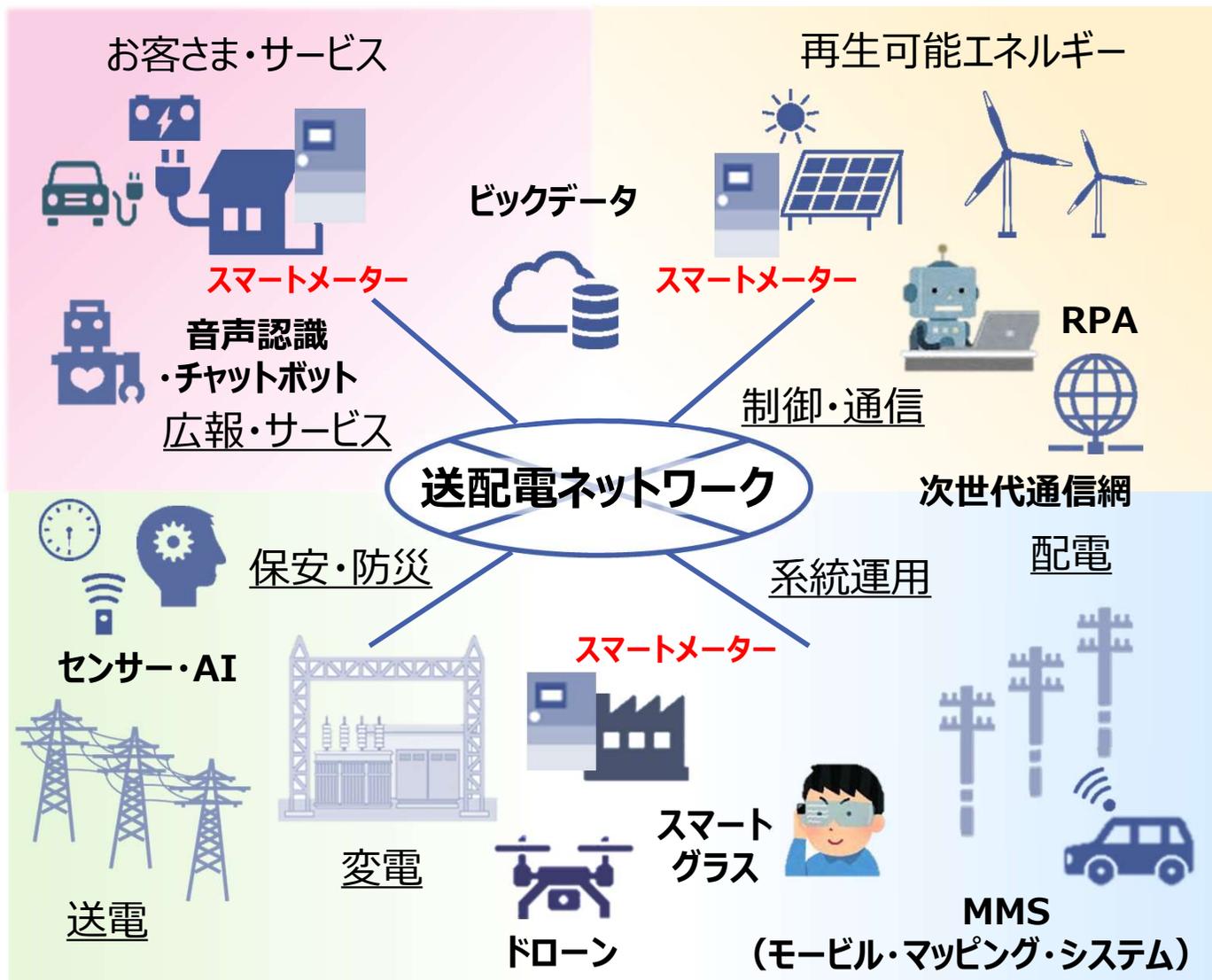
目指す姿実現に向けた取組み

DX推進計画

技術戦略

IT戦略

関連DX



- 次世代スマートメーター（＝電力DX推進に向けたツール）のデータおよびネットワークを活用し、社会便益の実現および更なる電力DX推進への取り組みを進めていきます。

レジリエンスの強化

- スマートメーターデータやポーリング機能を活用して、断線や隠れ停電を検知し、早期に停電を解消
- 遠隔アンペア制御機能を活用して、需給ひっ迫時に需要を制限

系統全体の需給安定化

- スマートメーターの高粒度データや30分値により高精度に推定した負荷・発電量を用いて電圧調整の高度化（電圧調整器の集中制御）

再エネ普及・脱炭素化

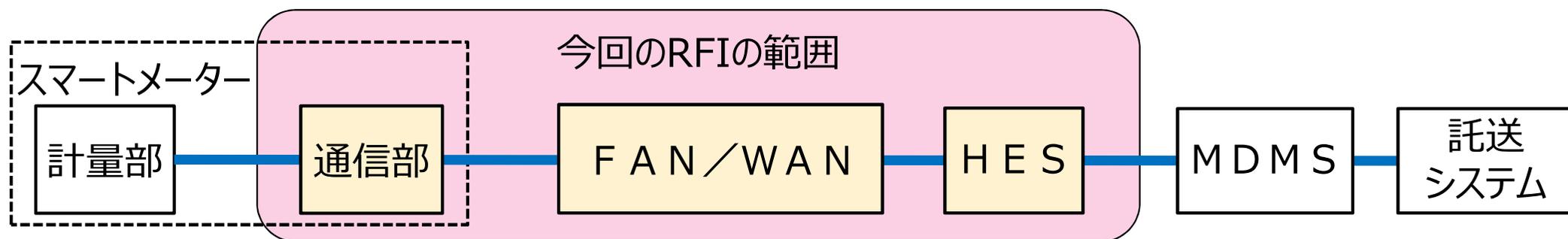
- スマートメーターの高粒度データやセンサ開閉器データを用いた連系検討および高度な運用管理により再生可能エネルギーの接続拡大や配電線ロスの低減

効率化・需要家利益の向上

- スマートメーターデータや保有する設備・ノウハウを活用した新たなサービス・事業の展開
- スマートメーターネットワークの活用による社会インフラのデータ伝送サービスの展開

3. 情報提供依頼の実施内容

- 今回は、スマートメーター通信システム（通信部～HES）を対象に、情報提供依頼（以下、「RFI」）を実施します。
次世代システムの構築方法を選定するため、システム構成、開発スケジュール、移行方法、概算費用などの情報提供を依頼します。
- 当社ホームページにRFI実施について掲載し、様々な企業から幅広く情報を提供いただきます。
RFIの内容については、秘密保持を条件に参加企業に提示いたします。
- 提供いただいた情報については、実現性、経済性、拡張性の観点から評価します。



年度	2021年度			2022年度	
	12月	1月	2月	3月	4月
RFIスケジュール	▼RFI発出			▼RFI完了	
	参加企業での検討・情報提供			評価 構築方法選定	

- システム開発は、2026年度末に開発を完了する予定です。
- 調達は2023年度に実施予定ですが、その方法（RFP・競争入札・随意契約）については、RFIの結果や詳細検討の結果を踏まえて判断し、公平に実施します。

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
スマートメーター 通信システム		RFI ↑ 反映	詳細検討・調達	設計・開発			★運用開始
MDMS		業務要件 検討	RFI・調達	設計・開発			★運用開始

以 上